



平成22年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 IMV株式会社 上場取引所 JQ
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 二郎
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営企画部長 (氏名)桂井 徹 TEL (06)6478-2565
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第3四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第3四半期	2,552	△24.1	124	—	118	—	73	—
21年9月期第3四半期	3,361	△18.9	△77	—	△64	—	△164	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第3四半期	4.50	—
21年9月期第3四半期	△10.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第3四半期	6,533	1,970	30.2	120.56
21年9月期	6,850	1,912	27.9	117.00

(参考) 自己資本 22年9月期第3四半期 1,970百万円 21年9月期 1,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	1.00	1.00
22年9月期	—	0.00	—	—	—
22年9月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,175	0.4	170	—	130	—	130	—	7.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 7「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
 新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無
 ② ①以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数（四半期累計）

22年9月期3Q	16,957,016株	21年9月期	16,957,016株
22年9月期3Q	611,953株	21年9月期	610,632株
22年9月期3Q	16,345,410株	21年9月期3Q	16,347,532株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	6
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. その他の情報	7
(1) 重要な子会社の異動の概要	7
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	7
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書	10
【第3四半期連結累計期間】	10
【第3四半期連結会計期間】	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	14
(5) セグメント情報	14
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
4. 補足情報	15
(1) 生産、受注及び販売の状況	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績の見通しが改善され、回復が遅れていた設備投資についても持ち直しが見られましたが、欧州を中心に世界経済の先行きに不透明感が強まり、円高やデフレ等の影響が懸念される状況でありました。

このような環境の中、当社グループは、「経営の安全性」と「近未来の基盤作り」を重点志向しており、固定費の削減を継続するとともに、新たな事業基盤を確立するため新製品の開発と他社との協業を推進いたしました。新製品の開発としましては、新型マイグレーションテスターや需要が高まっているリチウムイオン電池向けの検査装置を発売いたしました。協業の面では、GEエナジー・ジャパン株式会社やデンマークのブリュエル・ケア社と業務提携契約を締結しており、品揃えや販売チャネルを強化いたしました。また、開発力の強化を目的に、電子機器の開発受託を行う株式会社データ・テクノを連結子会社化いたしました。

業績面では、受注の回復が鮮明になっており、3四半期連続で前年同四半期を上回る受注高となっておりますが、建設機械向けの大型案件の計上が少なかったこともあり、売上高につきましては前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は2,552百万円となり、前年同四半期と比べ808百万円の減収(対前年同四半期比24.1%減)となりました。利益面では、固定費の削減効果や限界利益率の改善もあり、経常利益は118百万円となり前年同四半期と比べ183百万円の増益(前年同四半期は経常損失64百万円)となりました。また、早期希望退職者の募集による早期割増退職金を計上しましたが、四半期純利益は73百万円となり前年同四半期と比べ238百万円の増益(前年同四半期は四半期純損失164百万円)となりました。

事業部門別の営業の概況は次のとおりであります。

(振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、欧州最大の振動シミュレーションシステムメーカーLDS社の親会社であるブリュエル・ケア社と業務提携契約を締結しました。これにより、当社の多軸製品をLDS社の販売チャネルでグローバルに拡販するとともに、LDS社が得意とする大型振動シミュレーションシステムを当社が日本国内で販売することが可能となり、市場の拡大と製品ラインナップの強化を図ることができました。また、前連結会計年度に発売した省エネ型振動シミュレーションシステム「エコシェーカー」シリーズにおいて、発売当初未対応であった水冷型の大型システムを開発し、納入いたしました。

既存製品では、海外からの受注が4月以降も引き続き好調に推移したほか、国内においても自動車関連業界を中心に設備投資が回復しつつあり、受注は当連結会計年度に入り3四半期連続で前年同四半期を上回っております。一方、売上高につきましては、概ね予定通り順調に推移しておりますが、前年同四半期に計上された建設機械向けシステムのような大型案件の計上が少なかったことにより、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は1,443百万円となり前年同四半期と比べ901百万円の減収(対前年同四半期比38.4%減)となりました。

(メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、製品ラインナップの拡大にむけて、設備状態監視システム分野において世界的なシェアを誇るGEブランド：Bentley Nevada(ベントリーネバダ)製品の販売等に係る業務契約を、GEエナジー・ジャパン株式会社と締結いたしました。また、新型マイグレーションテスターや需要が高まるリチウムイオン電池向けの検査装置をリリースするとともに、風力発電機向け振動監視装置や太陽光パネル向けテスターといった新規性の高いアイテムの開発に注力いたしました。既存製品では、携帯型振動計やマイグレーションテスターの需要が戻りつつあり、受注は回復に転じておりますが、売上高につきましては受注から売上までに期間を要する案件もあり、前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、この事業の売上高は607百万円となり前年同四半期と比べ0百万円の減収(対前年同四半期比0.1%減)となりました。

(テスト&ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、鉄道関連業界の活況を受けて、新設した鉄道車両機器向け受託試験施設が好調であったほか、自動車関連分野では電気自動車関連の試験が増加しており、前年同四半期を上回る受注高、売上高となりました。

以上の結果、この事業の売上高は501百万円となり前年同四半期と比べ93百万円の増収(対前年同四半期比22.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**(資産)**

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ316百万円減少し、6,533百万円となりました。流動資産では、前連結会計年度末と比べ96百万円減少し、3,207百万円となりました。この主な要因は現金及び預金の増加134百万円、仕掛品の増加195百万円、原材料の増加24百万円及び繰延税金資産の増加10百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少281百万円、有価証券の減少18百万円、製品の減少85百万円及び未収還付法人税等の減少70百万円があったことによるものであります。固定資産では、前連結会計年度末と比べ220百万円減少し、3,326百万円となりました。この主な要因は、減価償却費・減損損失等による有形固定資産の減少163百万円及び長期預金の減少50百万円があったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ374百万円減少し、4,563百万円となりました。流動負債では、前連結会計年度末と比べ135百万円減少し、3,225百万円となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金の増加82百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加50百万円及び未払金の増加15百万円があったものの、短期借入金の減少300百万円があったことによるものであります。固定負債では、前連結会計年度末と比べ239百万円減少し、1,337百万円となりました。この主な要因は社債の減少50百万円及び長期借入金の減少187百万円があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ57百万円増加し、1,970百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加57百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.3ポイント増加し30.2%となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末の117円00銭に対し、120円56銭となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高については概ね予定通り推移しております。利益面では当初の予定よりも改善傾向にあるものの、期末に向けて費用も増加傾向にあることから、平成21年11月13日に公表いたしました平成21年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、営業外収益「雑収入」に含めて表示しておりました「セミナー収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。

なお、前第3四半期連結累計期間における「セミナー収入」の金額は、6,118千円であります。

前第3四半期連結会計期間において、営業外収益「雑収入」に含めて表示しておりました「セミナー収入」は、営業外収益総額の100分の20を超えたため区分掲記しました。

なお、前第3四半期連結会計期間における「セミナー収入」の金額は、2,888千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第3四半期連結累計期間において、投資活動によるキャッシュ・フロー「その他」に含めて表示しておりました「保険積立金の解約による収入」は、重要性が増加したため区分掲記しました。

なお、前第3四半期連結累計期間における「保険積立金の解約による収入」の金額は、1,733千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,012,636	878,335
受取手形及び売掛金	1,226,830	1,508,661
有価証券	—	18,812
製品	29,846	115,650
仕掛品	611,021	415,311
原材料	201,968	177,890
未収還付法人税等	—	70,048
未収消費税等	—	9,004
繰延税金資産	85,732	75,325
その他	39,976	35,659
貸倒引当金	△900	△1,000
流動資産合計	3,207,112	3,303,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,104,195	1,183,846
土地	1,736,243	1,751,339
その他(純額)	228,551	297,758
有形固定資産合計	3,068,990	3,232,944
無形固定資産	57,961	59,903
投資その他の資産		
その他	199,864	254,313
貸倒引当金	—	△214
投資その他の資産合計	199,864	254,099
固定資産合計	3,326,816	3,546,946
資産合計	6,533,929	6,850,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	580,217	497,282
短期借入金	1,629,900	1,930,000
1年内返済予定の長期借入金	609,688	559,390
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	89,324	74,120
未払費用	147,580	144,540
未払法人税等	4,170	—
製品保証引当金	40,000	44,000
その他	24,856	12,027
流動負債合計	3,225,736	3,361,360

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
固定負債		
社債	—	50,000
長期借入金	1,006,542	1,194,326
繰延税金負債	60,712	51,794
長期未払金	255,945	267,093
その他	14,500	13,500
固定負債合計	1,337,700	1,576,713
負債合計	4,563,436	4,938,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	1,055,863	998,579
自己株式	△109,327	△109,172
株主資本合計	1,968,915	1,911,787
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,577	784
評価・換算差額等合計	1,577	784
純資産合計	1,970,492	1,912,572
負債純資産合計	6,533,929	6,850,646

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
売上高	3,361,623	2,552,776
売上原価	2,649,095	1,717,744
売上総利益	712,527	835,031
販売費及び一般管理費	790,525	710,807
営業利益又は営業損失(△)	△77,997	124,224
営業外収益		
受取利息	1,623	1,543
受取配当金	634	501
有価証券売却益	—	746
有価証券評価益	—	239
受取賃貸料	50,964	925
セミナー収入	—	7,936
助成金収入	14,035	14,778
雑収入	23,227	11,855
営業外収益合計	90,485	38,528
営業外費用		
支払利息	30,631	31,543
有価証券評価損	15,883	—
賃貸収入原価	4,564	558
コミットメントフィー	10,000	—
雑損失	16,299	12,377
営業外費用合計	77,378	44,480
経常利益又は経常損失(△)	△64,889	118,272
特別利益		
貸倒引当金戻入額	200	223
保険解約返戻金	—	5,206
特別利益合計	200	5,430
特別損失		
たな卸資産評価損	21,835	—
固定資産除却損	9,937	55
投資有価証券評価損	7,618	3,061
前期損益修正損	11,291	—
減損損失	6,078	17,294
早期割増退職金	—	25,966
特別損失合計	56,761	46,377
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△121,451	77,324
法人税、住民税及び事業税	1,966	4,453
過年度法人税等	△3,340	163
法人税等調整額	44,803	△921
法人税等合計	43,428	3,694
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△164,880	73,629

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	605,638	618,768
売上原価	577,914	416,487
売上総利益	27,724	202,280
販売費及び一般管理費	218,742	226,241
営業損失(△)	△191,018	△23,961
営業外収益		
受取利息	510	364
受取配当金	284	295
有価証券売却益	—	746
有価証券評価益	7,186	—
受取賃貸料	308	308
セミナー収入	—	3,057
助成金収入	14,035	2,767
雑収入	8,361	5,188
営業外収益合計	30,687	12,728
営業外費用		
支払利息	9,727	9,573
有価証券評価損	—	1,771
賃貸収入原価	174	186
雑損失	6,361	5,080
営業外費用合計	16,263	16,612
経常損失(△)	△176,593	△27,845
特別利益		
貸倒引当金戻入額	200	100
特別利益合計	200	100
特別損失		
固定資産除却損	—	0
投資有価証券評価損	—	65
特別損失合計	—	65
税金等調整前四半期純損失(△)	△176,393	△27,810
法人税、住民税及び事業税	△2,393	545
過年度法人税等	—	163
法人税等調整額	17,186	△220
法人税等合計	14,792	488
四半期純損失(△)	△191,186	△28,298

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△121,451	77,324
減価償却費	197,738	187,725
のれん償却額	—	1,817
減損損失	6,078	17,294
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△200	△414
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△4,000
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,071	—
受取利息及び受取配当金	△2,257	△2,045
受取賃貸料	△50,964	△925
支払利息	30,631	31,543
為替差損益(△は益)	1,026	△31
固定資産除却損	9,937	55
有価証券売却損益(△は益)	—	△746
有価証券評価損益(△は益)	15,883	△239
投資有価証券評価損益(△は益)	7,618	3,061
前期損益修正損益(△は益)	11,291	—
売上債権の増減額(△は増加)	837,496	294,432
たな卸資産の増減額(△は増加)	163,968	△130,035
仕入債務の増減額(△は減少)	△468,743	80,394
保険返戻金	—	△5,206
その他	△211,619	6,015
小計	412,361	556,019
利息及び配当金の受取額	1,719	1,739
利息の支払額	△31,208	△31,564
法人税等の支払額	△158,450	△2,734
法人税等の還付額	—	71,673
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,422	595,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	20,910
投資有価証券の取得による支出	△11,152	△1,129
有形固定資産の取得による支出	△301,811	△21,288
有形固定資産の売却による収入	17,980	—
無形固定資産の取得による支出	△2,359	△775
定期預金の預入による支出	△6,168	△6,178
定期預金の払戻による収入	—	100,000
保険積立金の解約による収入	—	12,330
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,588
その他	41,718	△2,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	△261,794	97,528

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	260,000	△301,552
長期借入れによる収入	340,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△379,365	△445,472
社債の償還による支出	△98,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△112	△155
配当金の支払額	△65,403	△16,378
その他	△11,012	△1,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	46,107	△514,570
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,026	31
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,708	178,122
現金及び現金同等物の期首残高	358,159	645,178
現金及び現金同等物の四半期末残高	365,868	823,300

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステム及びメジャリングシステムの製造・販売を事業内容とする単一事業区分であるため、事業の種類別セグメント情報は作成しておりません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成21年6月30日)

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成22年6月30日)

	アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	399,911	53,180	11,072	464,164
II 連結売上高(千円)	—	—	—	2,552,776
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.7	2.1	0.4	18.2

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本国以外の区分に属する主な国又は地域

(1)アジア : 韓国、中国、台湾

(2)ヨーロッパ : ロシア

(3)その他の地域 : アメリカ

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

(生産実績)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	2,148,928	68.0	1,366,102	54.6	63.6
メジャリングシステム	602,495	19.1	612,355	24.5	101.6
テスト&ソリューションサービス	409,069	12.9	524,101	20.9	128.1
計	3,160,494	100.0	2,502,559	100.0	79.2

(受注高実績)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	1,275,687	56.0	2,275,240	64.9	178.4
メジャリングシステム	592,397	26.0	688,362	19.7	116.2
テスト&ソリューションサービス	411,040	18.0	540,839	15.4	131.6
計	2,279,125	100.0	3,504,442	100.0	153.8

(受注残実績)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	585,148	85.6	1,297,588	85.0	221.8
メジャリングシステム	73,508	10.8	168,329	11.0	229.0
テスト&ソリューションサービス	24,551	3.6	61,594	4.0	250.9
計	683,208	100.0	1,527,512	100.0	223.6

(販売実績)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成21年6月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	2,345,343	69.8	1,443,975	56.6	61.6
メジャリングシステム	608,322	18.1	607,654	23.8	99.9
テスト&ソリューションサービス	407,957	12.1	501,147	19.6	122.8
計	3,361,623	100.0	2,552,776	100.0	75.9